

朝倉市ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症をはじめとする人獣共通感染症は、人口増加、森林開発や農地化等の土地利用の変化などから、人による地球の生態系に影響を及ぼす行為が繰り返され、気候変動の一因となったこと等によって動物と人との生存領域が変化したことから、動物の感染症に対する抵抗力を保有しない人にも感染するようになったとされている。

こうした中、「人と動物の健康と環境の健全性是一つ」と捉えるワンヘルスの理念のもと、生物多様性の損失、地球温暖化、人獣共通感染症といった人、動物、環境の各分野にまたがる総合的な取り組みが求められている。

福岡県では、全国に先駆けて令和2年12月に「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題への取組の基本方針を定めた。さらに、令和4年3月には、ワンヘルス推進のための施策や取組を体系的に整理し、県民、事業者、自治体等関連団体の役割を示した「福岡県ワンヘルス推進行動計画」を策定した。

本市は、目指すまちの姿を「人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉」とし、貴重な地域資源である水と豊かな自然環境、美しい景観、多種多様な歴史文化といった多彩な魅力が相まって、朝倉市に住む人、訪れる人が住み続けたい、住んでみたいと思うまちづくりを目指している。

また、令和4年1月には「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、森林農地の保全、生物多様性の保全、健康で快適な暮らしの基盤づくり、循環型社会の構築、低炭素社会の構築、人材の育成などに取り組んでいる。

これらのことを踏まえ、本市は、人と動物の健康及び環境の健全性を次世代に継承していくため、下記の事項に取り組み、ワンヘルスを推進することをここに宣言する。

記

- 1 福岡県ワンヘルス推進行動計画に基づき、福岡県の取組に協力し、ワンヘルス実践施策を積極的に推進する。
- 2 市民へのワンヘルス周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し、必要な支援を行う。

令和5年3月20日
朝倉市長 林 裕二